

NEWS LETTER

1. イベント開催報告 (1)

2021年9月22日(水)にデータサイエンスセンター主催、教育開発支援機構教育開発・学習支援センターが共催・第23回FDワークショップとして、「数理・データサイエンス・AIプログラム(以下、MDAP)」と「データサイエンスセンター(以下、DSC)」の開設記念イベントを開催しました。

本イベントでは、本学が目指している「数理・データサイエンス・AI教育」の社会とのつながりの方向性や導入の目的などが講演され、データサイエンス教育への理解促進の一助となりました。

イベント内容

小秋元副学長(データサイエンスセンター長)による開会挨拶では本学が目指すMDAPの方向性が、廣津前設置準備委員会委員長(情報科学部教授)からは、MDAP科目やDSC設置の目的が紹介されました。その後、実際に社会で活躍されているお二方の基調講演を行いました。

基調講演1として「DXがもたらす社会イノベーションと取り組み事例」をテーマに株式会社日立製作所佐藤様、基調講演2として「文理融合とデータ活用したストーリーを作ることの重要性」をテーマに本学卒業生でもある楽天株式会社戸田様による講演がそれぞれ行われ、社会が抱える課題解決の意義や実体験などを聴くことができた貴重な機会となりました。最後に平山常務理事(教学企画室長)による閉会挨拶では、社会課題の解決に必要な本学の教育プログラムの必要性が紹介され、盛況のうちに閉会しました。

<参加者数:196名(学生:151名/教職員・一般:45名)>

参加者アンケートより

- ◆ 理系と文系両方の視点からデータについて話を聞くことができるととても興味深かった。
- ◆ DXとは何なのか、現状分析や将来ビジョンに加えて、日立製作所の取り組み例などの紹介があり、イメージや今後の学ぶ意欲もかきたる材料となった。
- ◆ 実際にデータサイエンスや人工知能を用いることで解決できる課題について実際にデータを用いて紹介されていたため、これからデータサイエンスを学ぶ上でのゴールが少し明確になった。
- ◆ データサイエンスの専門的な話とデータを実際に身近で活用している例の両方の面から話を聞いた。

当日の様子

当日のイベントの様子は、以下のサイト(最下部イベント欄)から動画にてご視聴いただけます。是非、ご覧ください(視聴期間は2021年11月30日迄)。

<https://www.hosei.ac.jp/kyoiku/taisei/2/>

【今後について】

教育支援開発機構教育開発・学習支援センター(LFセンター)では、その設置趣旨に鑑み、特色の一つである「教員・職員・学生が協働するFD活動」を深耕するため、開催形態を問わず、今後もこのようなFD活動に積極的に取り組んでいきます。

2. イベント開催報告（2）

2021年9月3日（金）に教育開発支援機構教育開発・学習支援センターと学務部が主催し、第22回FDワークショップとして、「DX化する教育活動を支援していくために～実行可能な業務改善と、新たなDXツールを活用した業務改革に向けて～」を開催しました。

本ワークショップでは、文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択された事業「HOSEI Hi-DXによる個別最適化された学び」の内容を理解するとともに、DXツールを活用した業務改革について考える機会となりました。

イベント内容

第一部のFDワークショップでは、教育開発・学習支援センター長の山本兼由・生命科学部教授より「HOSEI Hi-DXによる個別最適化された学び～法政モデルの実践」と題し、教育環境・教育手法・教育支援の高度化を目指す法政大学DX推進計画の紹介および「教育学習時空間システム」と「教育学習ポートフォリオ」を目指す「HOSEI Hi-DX」の構築が報告されました。これにより、オンラインと対面が共存できる新しい授業管理運営、「学生カルテ」による個別最適な学習指導およびカリキュラム運営への振り返りが期待されます。

第二部は学務部職員研修として、まずは教育支援本部プロジェクト“All Campus全体最適化会議”の12プロジェクトから現状報告を行いました。各プロジェクト「チャットボットの活用」「スマホアプリの導入」「事務情報伝達の一本化」「時間割作成業務の自動化」「教務事務スケジュールの統一」「定期試験運営の効率化」「科目等履修生への支援」「在校生向けのオンラインサービス」「ガイダンスのオンデマンド化」「学生証番号付番やクラス編成の効率化」「グループウェアの活用」「学習・学生生活ポートフォリオの作成」について部局間を横断した検討が報告されました。

つぎに株式会社エデュースより講師をお招きし、「いまさら聞けないRPAのキホン～大学におけるRPAの成功事例・失敗事例」について、参加者が4-5名のグループワークも交えながら、大学におけるRPA活用の可能性について意見交換を行いました。

最後の講演3では、業務を遂行するための法令及び学内ルールを確認し、それらを遵守した予備費・予算流用、労働時間について理解を深めました。

なお、このイベントは、千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム（千代田区キャンパスコンソ）共催で実施され、千代田区内の他大学職員の参加もありました。

<参加者数：72名(事務職員56名/教員8名/監事1名/他大学職員7名)>



主催：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター/学務部
共催：千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム(千代田区キャンパスコンソ)
法政大学第22回FDワークショップ
DX化する教育活動を支援していくために
～実行可能な業務改善と、新たなDXツールを活用した業務改革に向けて～

新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活・働き方は急激に変化し、大学を取り巻く環境も例外なく大きく変化しました。そのような中、本学では文部科学省による大学改革推進等補助金(デジタル活用教育高度化事業)「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択され、コロナ禍で急激に進展してきた教育のデジタルイノベーションを、より高度なデジタル技術で大きく発展させ、従来の教育を超えるエクスペリエンスを提供すると同時に、多数かつ多様な学生と教職員の織りなす教育活動を支援していかなばなりません。本ワークショップでは、採択された事業「HOSEI Hi-DXによる個別最適化された学び」の内容を理解し、実行可能な業務改善と、新たなDXツールを活用した業務改革について考える機会としたいと思います。

プログラム(予定)

【第一部】FDワークショップ

12:40 開会挨拶

12:45 講演1
HOSEI Hi-DXによる個別最適化された学び
～法政モデルの実践
山本兼由
(教育開発・学習支援センター長、生命科学部教授)

【第二部】学務部職員研修

13:15 報告
教育支援本部プロジェクト
“All Campus全体最適化会議”の取り組みについて
～各プロジェクトから現状報告

14:15 講演2・グループワーク
いまさら聞けないRPAのキホン
～大学におけるRPAの成功事例・失敗事例
株式会社エデュース
(学校経営・運用に特化したコンサルティング会社)

15:20 講演3
業務を遂行するための法令及び学内ルールの遵守について
～予備費・予算流用、労働時間についてを中心に

16:00 講師 閉会挨拶

日時
2021年9月3日(金)
12時40分～16時

会場
法政大学市ヶ谷キャンパス
スカイホール(ボアノード・2階)
※状況によってオンラインで開催する場合があります。
※ハイフレックス形式での実施は予定していません。

対象
法政大学教職員
※学務部専任職員は参加必須
千代田区キャンパス/教職員

【参加申込方法】

- ◆以下のQRコードから、またはURLにアクセスし、指定の申込フォームからお申込みください。
- ◆法政大学職員で学務部以外の方は、申込前に必ず所属表の許可を得てから、お申込みください。

URL: <https://forms.gle/j1H9t8n3Qn782M6>
申込締切: 2021年9月27日(金)
※個人情報に厳重に管理し、イベント以外の目的で使用いたしません。

お問い合わせ 法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター/学務部
TEL: 03-3264-9040 E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp

参加者アンケートより

- ◆山本先生のご講演を聴くことで、本学が考えるDXの全容を理解することができた。
- ◆現在のDX推進が、高等教育の歴史の中でどのように位置づけられるか、また、DX推進の流れについても学ぶことができ、大変勉強になった。
- ◆RPAに関する講演は、RPAの理解を深める機会となり、自身の業務に落とし込むとした際の具体的なイメージを掴むことができた。
- ◆RPAの導入は難しいことが共有でき、業務改善(効率化)を大きな目で捉え、様々な方策を検討する必要あることが分かった。ただ、RPAもまずは導入してみて、それから何ができるかを考えてみる必要があると思った。
- ◆All Campus全体最適化会議のプロジェクトをされている方々が、どのような活動をされているのか知ることができ、とても有意義な機会だった。また、今知りたい話題が盛りだくさんであり、充実した研修だった。
- ◆予備費・予算流用、各種決裁・手続き等の手引き、労働時間(時間外労働)について改めて講演頂いたのがとても良かった。このような形式で、法政の職員が知っておかなければいけない基礎情報を教えていただく機会は今まであまりなく、自分で把握したり、業務の中で何となく知っていくようなことでもあったので、毎年このような職員生活にも役立つ情報を講演いただけると嬉しい。
- ◆いずれの内容も勉強になるものだったが、設定された時間に対して内容が多かったのではないかと感じる。質疑応答や発表の時間が十分に確保できていなかった点は残念。
- ◆普段から、「何か改善できるポイントはないか」と考えることが、よりワークショップを充実させるのではないかと感じた。常日頃「改善」の意識を持ちながら、業務に取り組みたい。



【お問い合わせ】

法政大学 教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター
Webサイト: <https://www.hoseiyoiku.jp/lf/>